

様式 2

教 科
数 学

種 目
数 学

発 行 者
数 研

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 各学年共に、数と式、関数、図形、資料の活用の順に構成され、学習指導要領に示す目標、内容及び内容の取扱いに即し、生徒の発達段階を考慮しながら、数学の内容の系統性に応じて配列されている。また、多くの「例」を挙げ、それに対する解答例を分かりやすく記述し、それに合わせた「問」を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能が十分に身に付くよう配慮されている。 本文内の「見つけよう」「活用しよう」「伝え合おう」で数学的活動を促す場面を設定し、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。 「ふりかえり」で既習内容と本章で学ぶ内容を関連付けたり、「例題の反復」で理解がより深まるようにしたりして、適切に既習内容を想起できるよう構成・配列が十分に配慮されている。 巻頭に「クイックチャージ」として8ページに渡って、前学年までの学習のまとめや基本問題があり、学び直しの機会に活用できるよう工夫されている。巻末には、「ぐんぐんのぼそう チャレンジ編」として、発展的に扱う内容を適切に取り上げている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 章の導入では、身近な話題を通して、その章でどんなことを学ぶのか、生徒の興味・関心を喚起できるように配慮されている。 「例」に見出しを付けたり、解答例に計算の過程や数学的な見方や考え方を明示したりするなど、生徒が主体的に取り組むことができるよう構成・配列が配慮されている。 「例」と対になった「問」の他に、節末の「確かめよう」、章末の「基本問題」、「章の問題A」、「章の問題B」、巻末の「ぐんぐんのぼそう チャレンジ編」等、生徒の理解の状況や習熟の程度に応じて、きめ細かな指導の充実が図れるよう、構成・配列・分量が十分に配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「数学探検」では、日常生活の中にある数学に関わる具体的な事象を取り上げ、数学のよさを実感を伴って味わうことができるような工夫が十分になされている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさや行間が適切であり、内容によって字体や色を変えたり、重要語句は枠囲みをしたりして、大変見やすく配慮されている。 目次は見やすく、見開きで教科書の使い方が示されている。また、巻末には、索引として数学用語が記載されており、使いやすい工夫がよくなされている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> 多くの「例」や「例題」を挙げることで理解を深め、それに関わる「問」や節末問題、章末問題を効果的に配置し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けることができるように十分配慮されている。 解答例は、計算式の式変形の過程にも説明があり、数学的な見方や考え方も明示してあるため、生徒が家庭等で学習する際の手助けとなるものである。